

船舶事故調査報告書

平成21年9月17日
 運輸安全委員会（海事専門部会）議決
 委員長 後藤 昇 弘
 委員 楠 木 行 雄
 委員 横 山 鐵 男（部会長）
 委員 山 本 哲 也
 委員 根 本 美 奈

事故種類	乗組員死亡
発生日時	不明（平成20年12月30日16時00ごろ本船が発見された。）
発生場所	不明（本船発見場所は、愛媛県越智郡上島町百貫島南岸沖合約3.7海里にあるのり養殖施設付近であった。）
事故調査の経過	平成20年12月31日、本事故の調査を担当する主管調査官（広島事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者としての船長及び甲板員からの意見聴取は、両人が死亡したため行わなかった。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等	漁船 ^{ふくろえい} 福栄丸、4.36トン HS3-30927（漁船登録番号）、個人所有 10.23m(Lr)×2.63m×0.74m、FRP ディーゼル機関、15kW（漁船法馬力数）、昭和56年9月7日
乗組員等に関する情報	船長 男性 57歳 二級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定 免許登録日 昭和51年6月25日 免許証交付日 平成20年12月17日 （平成26年11月6日まで有効） 甲板員 男性 83歳
死傷者等	死亡 2人（船長及び甲板員）
損傷	推進軸折損
事故の経過	本船は、平成20年12月30日06時15分ごろ、船長及び甲板員1人が乗り組み、広島県尾道市吉和漁港を出港した。16時ごろ、愛媛県の漁業協同組合の所属船により、無人の本船が百貫島南岸沖合3.7海里付近の、のり養殖施設に乗り揚げている状態で発見された。 船体発見時、機関は運転状態で、網が海中に入ったままの状態であった。 12月31日09時30分ごろ、福山市の漁業協同組合の関係者により、百貫島東方沖1,000m付近の海上で船長の遺体が、11時20分ごろ、捜索中の他の漁船により、百貫島南東岸沖合700mの海上で甲板員の遺体がそれぞれ発見されたが、いずれも溺水による窒息死と検案された。
気象・海象	気象：天気 曇り、風向 西北西、風速3～5m/s、視界 良好 海象：波高 1.0～1.5m

	特記事項：30日は、瀬戸内海に海上風警報が出されていた。	
その他の事項	発見時において、船長及び甲板員とも救命胴衣を着用していなかった。	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	不明 不明 なし <p>両人の死因は溺水による窒息死であった。(発症から死亡までの期間が短時間であると検案されている。)</p> <p>船長及び甲板員は、落水したことにより溺水したものと考えられるが、落水した状況については明らかにすることができなかった。</p>
原因	本事故は、百貫島付近において、本船に乗り組んでいた船長及び甲板員が、落水したため、発生した可能性があると考えられる。	